

## 西城長慶寺薬師堂彫刻について

熊谷市教育委員会 社会教育課  
市史編さん室嘱託職員 栗原健一

### はじめに

- \*市史編さん室とは…史料（古文書など）の調査・保存活動→書籍の編集・刊行・講座へ出講（市民へ）  
西城長慶寺の調査（薬師堂墨書・古文書など）  
→熊谷市教育委員会編『熊谷市史別編2妻沼聖天山の建築』（2016年）の刊行…西城長慶寺薬師堂を紹介
- \*本講座…江戸時代の長慶寺と薬師堂について概観し、特に薬師堂にある天井墨書と壁面墨書を紹介したい。それらをもとに、歴史学の視点から薬師堂の彫刻について検討してみたい。

### 1 江戸時代の長慶寺と薬師堂

(1) 長慶寺…古義真言宗／赤岩村 光恩寺（群馬県千代田町）末／浄瑠璃山薬樹院／本尊阿弥陀（伝安阿弥陀）  
開基は永和2年（1376）といわれる／開山慶弘は永和4年10月5日寂

- \*薬師堂…慶安2年（1649）10月17日に幕府より御朱印地10石余を賜る  
将軍家光・綱吉・吉宗・家重・家治・家斉・家慶・家定・家茂の朱印状→明治期に県へ返上  
像は行基作（『新編武蔵風土記稿』）

(2) 江戸時代の境内図〔図1〕

- \*寛政2年（1790）西城村長慶寺境内絵図（西城長慶寺文書）…幕府寺社奉行へ提出した文書の控  
境内…1900坪／本堂・庫裡（本堂東）・薬師堂（本堂西）→廊下でつながる／  
鐘楼堂（本堂前）…寛文12年（1672）11月鑄造の鐘（文政期）／土蔵（庫裡西）  
表門・裏門長屋・腕木門（うでぎもん）／観音堂・阿弥陀堂…薬師堂の門前に

- \*『新編武蔵風土記稿』（文政期）  
鐘楼・伊勢宮・天神社・薬師堂・念仏堂（門前）・観音堂（門前）・地蔵堂（門前）・勢至堂（門前）

### 2 薬師堂の墨書

(1) 天井墨書〔史料1〕

- \*元文4年（1739）3月 西城村茂木六兵衛・義左衛門による  
薬師堂建立…享保18年（1733）から材木・資金の収集／大工・木挽の賄米金は惣村の檀那が出資  
茂木六兵衛が手伝い／次第に資金不足に／元文4年までに来迎柱と宮居を建立／  
出資…村内・近村の奉加金・旗本岡部内記の寄進／大工…妻沼村林兵庫／彫物師…「吟八」=石原吟八郎？
- ※西城村の領主変遷…当初幕領→寛永17年（1640）旗本吉田・土生氏相給→貞享3年（1686）旗本米倉氏→  
元禄5年（1692）幕領→元禄7年旗本米倉氏→のち幕領→元禄11年（1698）岡部氏  
→元禄13年岡部2氏相給（分家による）→以後幕末まで

- \*「御地頭岡部内記」=旗本岡部忠壽（とし）

父忠直…書院番／元禄11年（1698）～西城村の知行主（入間・都筑・多摩郡→幡羅・男衾郡）／  
元禄13年死去（享年42）

忠 壽…元禄13年相続（12歳）／その際、知行地1,500石余→500石を弟三次郎（忠宜）へ分割／  
享保3年（1718）書院番／同9年二の丸勤仕→のち西の丸／妻…片桐平八郎為晴の娘／  
同20年死去（享年47）→薬師堂の完成を知らずに／

葬地…武蔵国多摩郡田畑村（東京都杉並区）天桂寺

子忠義…享保 20 年相続／元文 5 年（1740）書院番／延享 2 年（1745）進物係／妻…小出兵庫有敬の娘・  
後妻…服部久右衛門貞殿／寛延 2 年（1749）番を辞す／宝暦元年（1751）死去（享年 40）

\* 林兵庫正清（1678～1753）…国宝妻沼聖天堂を再建した大工棟梁

妻沼聖天堂の再建工事…享保 5 年（1720）聖天堂などの再建を発意

享保 20 年（1735）本格的に着工

<この間、西城長慶寺薬師堂来迎柱と宮居>

寛保元年（1741）奥殿上棟／寛保 2 年（1742）大水害

延享元年（1744）奥殿・中殿一部竣工（以降、工事中断）

宝暦 5 年（1755）中殿・拝殿の工事再開／宝暦 10 年（1760）中殿・拝殿竣工

☆妻沼聖天堂の再建の最中に、同じ大工棟梁・彫物師？が薬師堂を建立

## (2) 壁面墨書〔史料 2〕

\* 戸帳（厨子などの覆い布）／竜・虎／指送りの寄進

\* 1 段目 寄進額・人名／2 段目 寄進額・人名→かな名／「母」／「内」（内儀？）／村名なしは西城村  
→ほとんどが西城村の女性！

3 段目 薬師堂勸化村々／富突勸化／世話焼＝茂木源蔵

## 3 薬師堂の彫刻

(1) 薬師堂の彫物師 3 人…〔史料 2〕より判明→相生花輪町「石原吟八」・「板橋伊平次」・「新井孫四郎」

\* 上野国勢多郡花輪村（現、群馬県みどり市）→江戸中期には彫刻師が多数存在した村という

\* 高松又八郎邦教の門人系図〔図 2〕

高松又八郎邦教＝公儀彫物師／江戸九軒町住／行元寺本堂（千葉県いすみ市）

庵廟・憲廟御用勤（〔表 1〕参照）→4 代将軍家綱廟・5 代将軍綱吉廟（ともに寛永寺）

※邦教男子 頼直…章廟御用勤→7 代将軍家継廟（増上寺）

頼直男子 頼品…悼信院廟御用勤→9 代将軍家重廟（増上寺）

\* 邦教の門人 11 名のうち

＝「邦教門人・上州花輪・銀八名人」／「邦教門人・幸助・後ニ伊平治ト云」／「邦教門人・孫四郎」

→薬師堂彫刻…高松邦教門人 3 人の合作！

\* 薬師堂周りの彫刻…十二支をモチーフ？→今後の検討課題

(2) 妻沼聖天堂（国宝）の彫刻

\* 石原吟八郎といわれる（1 次史料はなし） ※石原吟八郎の門弟たち…近世後期に活躍！

\* 鳳凰彫刻…後藤茂右衛門正綱＝北面／小沢五右衛門常信＝南面〔図 2〕

(3) 諏訪神社本殿（県指定有形文化財）の彫刻（熊谷市上新田）

\* 本殿棟札写しより…延享 3 年（1746）妻沼聖天堂工事の中断中

彫物大工棟梁…石原吟八郎・深沢郡八郎・前原藤次郎（上州花輪村）

小沢五右衛門（江戸両国橋米沢町）・門弟 2 名→妻沼聖天堂も

## おわりに

\* 歴史史料の新発見や再確認→地域の新たな歴史像の提示へ→後世への担保＝史料保存の重要性！

<主な参考文献>熊谷市教育委員会編『熊谷市史別編 2 妻沼聖天山の建築』（2016 年）

蘆田伊人編『新編武蔵風土記稿』11 卷（雄山閣、1977 年）